

タウンとびっくす

T o w n t o p i c s



▲会長就任のあいさつをする貴島政邑さん

『関東大崎会が開催されました』

平成19年関東大崎会総会および懇親会が1月28日(日)、主婦会館プラザエフ(東京都千代田区)で開催されました。

当日は113名の方々が出席し、熱気あふれる会場内からは、久々の再会を喜ぶ方や郷土大崎の話に花を咲かせるなど、たいへん盛り上がっていました。

今回の総会で永年、会長としてご尽力された救仁郷斉さんに代わって貴島政邑さんが会長に就任されました。引き続き関東大崎会を盛り上げていきたいと抱負を語っていらっしゃいました。

『人命救助の2人に感謝状』

菱田川河口でシラスウナギ漁の最中に沖合いに流された男性を救助したとして、大隅曾於地区消防組合南部消防署は1月29日(月)、救助にあたった奥吉美教さん(中沖中)と神田晴夫さん(中沖西)に感謝状を贈りました。

事故は1月11日(木)午後10時半ごろ発生。深みにはまり沖合いに流された男性を2人が目撃し、奥吉さんは志布志港まで車で急行し、本人所有の遊漁船で現場に1人で向かい、一方、神田さんは陸上から携帯電話で迅速的確に男性の位置まで誘導し、事故発生から約30分後、無事救助しました。

この功労をたたえ、志布志海上保安署も1月30日(火)、2人に表彰状を贈りました。



▲感謝状を受け取った奥吉美教さん(中央)と神田晴夫さん(左から2番目)



『立小野小学生シイタケのコマ打ちを体験』

2月21日(水)、立小野小学校の児童9人が、総合的な学習の時間を利用してシイタケのコマ打ちを体験しました。

この日は保護者や地域住民12人も参加して、用意された180本のほだ木に電動ドリルで1本あたり25か所ほど穴をあけていき、児童らがその穴にシイタケ菌の付いたコマを打ち込んでいきました。

4年生の西池つばさくんは「自分たちで栽培するようになってからシイタケが好きになりました。今年の秋の収穫が楽しみです。」と話してくれました。